

令和3年度 3歳児 うめ1組「発表会」

1. 期間

1月～2月

2. 設定の理由

うめ1組の子どもたちは、1学期に、通園ノートを教師からもらう時に、自分になりたいものになりきったり、何になっているか他の友達に当ててもらったりして、特徴を自分なりに捉えてなりきることや、友達の動きの面白さを感じることをしてきた。また、クラスの「ダンゴムシのコロちゃん」の絵本を読んだ後に、コロちゃんになって教師や友達と一緒にごっこ遊びの中でなりきって体を動かしたり、かくれんぼをしたり、引越しゲームをしたりすることを楽しんできた。

2学期の運動会では、イモムシやチョウ、カエルやトンボ等になって皆と一緒に体を動かす心地よさを感じてきた。運動会後からは、好きな遊びで桃太郎ごっこをクラスのほとんどの子どもが約1ヶ月に渡り楽しみ、なりたい役になりきって動いたりやりとりしたり、役の気持ちを味わったりしてきた。その中で、鬼ヶ島に至るまでの道をフープやバランスストーンを並べ替えて作ったり、桃太郎ごっこに必要な物を自分達で考えて作ったり、置いたりすることも楽しんできた。

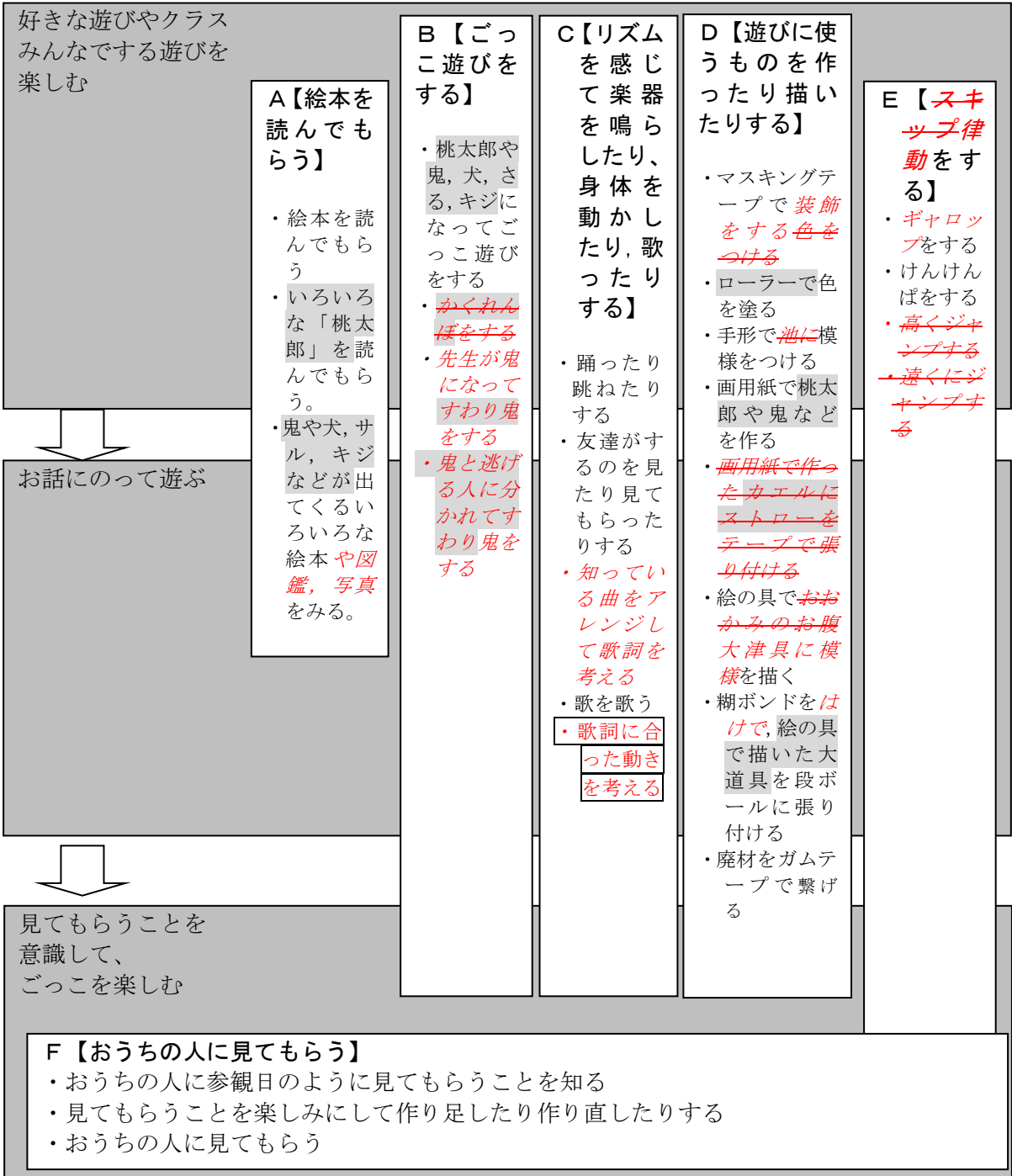
そこで、みんなに遊びの存在やその面白さが共有された「桃太郎」で、仲間が増えていく嬉しさを感じながらどうしたら鬼ヶ島に行けるか、鬼を倒せるかみんなで考え、お話の世界の中で遊ぶことを存分に楽しんでほしいと考え、選択した。絵本にでてくる生き物になりながら、これまでやってきた遊びを楽しんだり、その世界に入り込んで何があったらよいか考え作ったり、困ったときにはみんなで考えたり、思ったことを言ってみたり聞いたりして少しずつ話が面白くなったり困ったことが解決したりする素敵さに気付いたり、みんなと一緒にする楽しさをより感じられることを期待したい。

3. ねらい

- ① 桃太郎や鬼、犬などになりたいと思ってなったり、この動きをしたいと思って **考えたことを** やってみたり、鬼に捕まりたくない、鬼になって桃太郎達を捕まえたいなど、したいと思ったことをしようとする。 自ら決める・選ぶ
- ② 自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えた動きや言葉を友達や先生、お家の人に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足する。 自分に満足する
- ③ 自分の思い通りにならずに困ったり、嫌な気持ちになったりした時などに、先生や友達に話を聞いてもらったり、思いを代弁してもらったり、どうすればよいか一緒に考えたりして、気持ちを落ち着かせて **気持ちを発表会に向け** ようとする。 気持ちをコントロールする
- ④ 先生やいろいろな友達と身体を動かしたり、同じことをしたり、顔を見合わせて話し合ったりして、一緒に遊ぶ楽しさを感じる。 他者という喜びを感じる
- ⑤ いろいろな友達の役になっている動きや言葉、表情を見聞きしたり、していることを面白いと思ったり、真似をしてみたりして、友達の素敵などところやすごいところを知る。 他者のことを知る
- ⑥ 自分のしていることやしたいこと、遊びが面白くなると考えた考え、嫌だと思ったことを、先生に思いを汲み取ってもらって代弁してもらったり、一緒に言ったり、見守ってもらって自分で言ったりして、言葉や行動で伝えようとする。 自分のことを伝える
- ⑦ 友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたり、友達が痛い思いをしているのを見聞きしたりして、どうやったら危なくないか考えようとする。 身を守る
- ⑧ **ジャンプや** ケンケンパ、ギャロップをして、身体を動かしたり、**すわり鬼** で追いかけたり追いかけられたりすると身体が温まることや、バランスを取ったり、膝をしっかり曲げてバネを使ったりするなど、いろいろに身体を動かす心地よさを感じる。 身体を操作する

- ⑨ 絵本に出てくる鬼や犬、サル、キジなどに興味をもち、先生に教えてもらったり、絵本や写真を見たりして、鬼や犬、サル、キジなどの体の特徴や特性、得意なことなどを知り、かわいい、怖いと思ったり、桃太郎や仲間
の動物、鬼などの似ているところや違うところを見つけて面白いと思ったりする
生き物・いのちをみつめる
比較する
- ⑩ 遊びに必要な物を思い浮かべ、画用紙、マスキングテープ、ガムテープ、廃材など、いろいろな材料を使って形や色を工夫して作ったり、ローラーを転がして出来る色の混ざり合いに面白さを感じて塗ったりすることを楽しむ。
造形に表す
- ⑪ 歌のリズムを感じて歌ったり、歌のイメージにあった動きをしたり、ピアノの音を聴いてリズムを感じながら身体を動かしたりすることを楽しむ。
音楽に表す
- ⑫ いろいろな絵本を見て、仲間が増えていく嬉しさや、ドキドキしながらも鬼に立ち向かっていく面白さを感じたりみんなで考えたり案を出し合ったりして困ったことを乗り越えようとする素敵さを感じたり、次はどのようなのだろうかと展開を楽しみにしたりする。
文芸に表す
- ⑬ 桃太郎になって鬼と戦ったり、鬼になって桃太郎を捕まえようとしたり等、動きや表情、話し方、場面を思い浮かべながら動き、なりきって遊ぶことを楽しむ。
身体の動きに表す
- ⑭ 自分のしたい桃太郎ごっこをイメージして、必要だと思う物や装飾を考えたり作ったり置いてみたりする。
演出に表す
- ⑮ ガムテープカッターでガムテープを切る時に、テープを斜め下に引っ張ると切れることを知ったり、マスキングテープを指で切る時に、爪でテープの端を押さえて切ることを知ったりして使おうとする。したり、ローラーの使い方で色の付き方が違うことに気づき、ローラーを転がして前後に大きく動かしたり、側面を使ったりして試している。
道具をあやつる
- ⑯ ペンのインクやのりが乾かないように、使い終わったらキャップやふたを開めようとする。また、ペンのキャップをなくさずにすぐ閉められるように、外した後はペンのキャップを反対側につけようとする。
資源の活用をみつめる
- ⑰ 遊びに必要な物をどこに置いたらよいか考えて運んだり、並べたり、置いたり、片付けたりする。
住空間を整える

4. 展開



A【絵本を読んでもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・絵本を読んでもらう ・いろいろな「桃太郎」を読んでもらう。 ・鬼や犬、サル、キジなどが出	○鬼や犬、サル、キジなどの生態を知り、興味をもったり、身近	*読みたいと思った時にいつでも読むことが出来るように、いろいろな「桃太郎」の絵本や鬼や犬、サルなどが出てくる絵本や図鑑を目立つ場所に置いておく。 *絵本に出てくる生き物の生態に興味をもてるように、それぞれの特徴が載

てくるいろいろな絵本や図鑑、写真をみる。	に感じたりする。 ○鬼退治に行く仲間がどんどん増えていく面白さ嬉しさを感ずる⑪ ○鬼と戦う怖さや面白さやドキドキを感ずる⑪ ○怖かったが勇気を振り絞って仲間と力を合わせて鬼を倒せたところを素敵だと感ずる⑥ ○いろいろな絵本や図鑑、写真を見て鬼や犬、サル、キジなどの生態や特徴に面白さを感ずる ○物語が分かって楽しんだり、物語に親しみをもったりする⑪	っている絵本や図鑑、写真を飾っておくいろいろなやぎやおおかみが出てくるを目立つ場所に置いておく。 ○鬼退治に行く仲間がどんどん増えていく嬉しさを感ずられる様子が伝わりドキドキしながら聞いたり見たりできるように、少し怖い明るい声色で読んだり、動きや表情が分かるように絵をじっくり見られる間をつくらしたりする。 ○鬼と戦う怖さ面白さやドキドキを感ずられるように、鬼のセリフを少し怖い声色で読んだり、隠れているページはじっくり絵を見せたり、間をとってからページをめくったりする。 ○自分の考えを伝える喜びを感ずられるようにどうしたらよいか自分の考えを言葉にしている子どもの思いを受け止めたり、その考えが伝わるように言葉を足してみんなに知らせたりする。 ○怖かったが勇気を振り絞って仲間と力を合わせて鬼を倒せた喜びを感ずられるように、明るい声色で読んだり、最後のページをじっくり見せたり安心した気持ちで読んだりホッとした気持ちを言葉にしたり微笑んだりする。 ○それぞれの特徴に気付き、その生態に興味を抱けるように、子どもと一緒に絵本や図鑑、写真を見たり、子どもの驚きに共感して一緒に驚いたり言葉にしたりする。 ○物語が分かって楽しめるように、折りをみて繰り返し何度も絵本を読んだり、同じ話の違う絵本、解釈が異なる絵本を読んだりする。
-----------------------------	--	---

B【ごっこ遊びをする】

予想される 子どもの活動	ねらい	＊環境の構成 ④教師の援助
・桃太郎や鬼、犬、さる、キジになってごっこ遊びをする ・かくれんぼをする ・先生が鬼になってすわり鬼をする ・鬼役と逃げる役	○桃太郎や鬼、犬、さる、キジなどの生き物に、なりたいたいと思ってるようにする① ○桃太郎や鬼、犬、サルキジなどなりながらきびだんごを食べたりごはんを作ったり、手遊びをしたり、歌ったり踊ったり	○なりたいたい役を決めてなろうと思えるように、それぞれの役の楽しさを伝えたり、どの役があるか絵で描いて分りやすく掲示したり、役の写真を掲示したり、どの役をするか尋ねたりする。 ○桃太郎になっている気持ちが味いやすいように、鬼退治の道具を置いておいたり、きびだんごを作れる場を用意したり、遊びに使えるように準備を

に分かれてすわり鬼をする	り、隠れたり鬼ごっこをしたりして楽しむ⑫ ○自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えた動きや言葉を友達や教師に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足する② ○友達としたいことが同じで取り合いになったときなどに、先生に話を聞いてもらったり、思いを代弁してもらったり、どうすればいいか一緒に考えたりして、気持ちを落ち着かせ、<u>て気持ちを発表会に向けて</u>ようとする③ ○クラスみんなでままごとをしたり、<u>一緒に狭い空間に隠れたりすわり鬼をしたり</u>、歌を歌ったりすることを楽しむ④ ○友達がしている喋り方や動き方を聞いたり見たりして、友達の素敵どころやすごいところを知る⑤ ○自分のしていることやしたいこと、嫌だと思ったことを、先生に思いを汲み取ってもらって代弁してもらったり、一緒に言ったり、見守ってもらって自分で言ったりして、言葉や行動で伝えようとする⑥ ○<u>友達をタッチしようと友達をねらって身体を動かしたり逃げたり追いかけたりして身体を動かすと温まることや、身体を動かす心地よさを感じる</u>⑧ ○鬼から離れて逃げたり、広い場所を見つけて向かったりし、どうすれば捕まらないか考えて遊ぶ。⑧ ○相手の動きを見ながら、走るスピードや方向を変えて、タッチされないように逃げたり、タッチするために追いかけてたりする⑧ ○鬼や犬、サルやキジはどんな動きをしているのかをいろいろ	しておく。 ◎したいことができたことや、見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりする嬉しさを感じられるように、<u>実際に遊ぶ時間を確保したり</u>、友達同士で見合う機会を作ったり、素敵などころを見つけて伝えたりする。 ◎取り合いになった時などに、気持ちを落ち着かせられるように、スキンシップをとりながら話を聞いたり、思いを代弁したり、どうすればいいか考えたり選択肢を提案したりする。 ◎クラスみんなで遊ぶことを楽しいと思えるように、みんなで同じ動きを揃えてする場面や、<u>みんなで狭い空間で身体を寄せ合う場面</u>、<u>一緒にすわり鬼をする場面</u>、一緒に声を揃えて歌う場面を作る。 ◎友達の素敵どころやすごいところを知ることが出来るように、友達の動きに注目させたり、教師が気付いた素敵どころを言葉にしたりする。 ◎自分の思いを言葉や行動で伝えようできるように、思いを代弁したり、主語などの言葉のはじめを代弁してきっかけを作ったり、一緒に言ったり、見守ったりする。 ◎<u>身体を動かすと温まることや、その心地よさを感じられるように、走った後に温かくなっていることを伝えたり、走ってみた気持ちを尋ねたりする。</u> ◎相手の動きを見て、距離を保ったり詰めたりしているよさを感じられるように、始まる前に鬼から離れて待っていることや鬼のいない広い場を見つけて逃げ込んでいる姿を見つけて、他児にも知らせていく。 ◎色々な動きをしながら十分体を使って遊べるように、走るスピードを速くして緩めたり、急に方向を変えたりしている動きを具体的に言葉で意識させる。 ◎生き物の成長を知り、その特徴となる動きに興味をもってなりきって遊べ
---------------------	---	---

	ろな絵本や図鑑や写真、動画をみたり先生と一緒に考えたりしながら、なりきって遊ぶことを楽しむ⑫ ○何をしたらよいか困ったり、自分のすることを忘れていたりしている友達に声をかけたり、どうしたいのか尋ねたり、手伝ったり、教えたりする。	るように、いろいろな動きを一緒にしたり、いろいろな場面でどんな動きをしようかと尋ねて想像を膨らませたり、友達のしたいと思っている考えを知らせたりする。 ◎困っている友達がいたら、手伝ったり教えたりするよう、教師も一緒にどうしたいのか尋ねたり、友達のことを考えている素敵さを褒めたりする。
--	--	---

C【リズムを感じて楽器を鳴らしたり、身体を動かしたり、歌ったりする】

予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ 踊ったり跳ねたりする ・ 友達がするのを見たり見てもらったりする ・ 知っている曲をアレンジして歌詞を考える ・ 歌を歌う ・ 歌詞に合った動きを考える	○自分でしたいと思ったことができたり、自分の考えた動きや言葉を友達や教師に見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりして満足する② ○自分が考えたことを先生や友達に言葉で伝えたり、やってみせたりする⑥ ○踊ったりすることを楽しむ⑩ ○友達がしている動きを見て、友達の素敵なおところやすごいところを知る⑤ ○歌のリズムを感じて歌を歌うことを楽しむ⑩ ○歌のイメージに合った動きを考えてすることを楽しむ⑩	◎したいことができた嬉しさや見てもらったり聞いてもらったり褒めてもらったりする嬉しさを感じられるように、素敵なおところを褒めたりする。 ◎自分で考えたことのおよさを感じられるように、伝える機会をもったり、考えたことの素敵さを褒めたりする。 ◎踊ったりすることを楽しくめるように、それぞれの良さを言葉にして褒めたり、掛け声をかけて盛り上げたり、楽しさに共感する言葉をかけたりする。 ◎友達の動きの素敵さを感じられるように、教師が気付いた素敵なおところを言葉にして注目させる。 ◎歌のリズムを感じて歌うことを楽しくめるように、リズムに合わせて手拍子をする。 ◎歌のイメージに合った動きをすることを楽しくめるように、イメージに合った動きをしていることを褒めたり、どんな動きがいいか一緒に考えたりする。

D【遊びに使うものを作ったり描いたりする】

予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ マスキングテープで装飾をする ・ ローラーで色を塗る ・ 手形で油に模様をつける ・ 画用紙で桃太郎や鬼などを作る	○桃太郎の生活や鬼退治などの遊びに必要なものを思い浮かべて、カラーテープやモール、	*使いたい時にガムテープやペン、ポロ袋を使って作ったり、作り足したりできるように、必要なものを様々な色ですぐに出せるように用意しておく。 ◎色や組み合わせを考えて作りたいものを作る楽しさを感じられるように、いろいろな色があることを知らせた

・画用紙で作ったカエルにストローをテープで張り付ける ・絵の具でおおかみのお腹大道具に模様を描く ・糊ボンドをはけで、絵の具で描いた大道具を段ボールに張り付ける ・廃材をガムテープで繋げる	折り紙、花紙、カラーペン等を用いて作ることを楽しむ⑨ ○色の混ざり合いに面白さを感じる⑨ ○テープカッターでガムテープを切る時に、テープを斜め下に引っ張ると切れることを知って使おうとする⑬ ○遊びに必要な物をどこに置いたらよいか考えて運んだり、並べたり、置いたり、片付けたりする。⑮ ○自分のしたい桃太郎ごっこをイメージして、必要だと思う物や装飾を考えたり作ったり置いてみたりする。⑭ ○ペンのインクやのりが乾かないように、使い終わったらキャップやふたを閉めようとする。また、ペンのキャップをなくさずにすぐ閉められるように、外した後はペンのキャップを反対側につけようとする。⑯	り、どんな色、飾りをつけたいか尋ねたりする。 ◎色の混ざり合いに面白さを感じたり塗ることを楽しんだりできるように、いろいろな色の絵の具とローラーを準備しておく。 ◎テープカッターでテープを切る時にテープを斜め下に引っ張ると切れることを知って使えるように、使おうとしているところを見守り、斜め下に引っ張ることを手を取って伝える。 ◎遊びに必要なものや使ったものをきれいに片付けられるように、どこに片付けようか一緒に考えたり、きれいに整える気持ち良さを伝えたりする。 ◎自分のしたい桃太郎ごっこをイメージして必要なものを考えたり、作ったりしようと思えるように、何があったらより桃太郎、鬼らしく見えるか尋ねたり、よりらしくなるように作っている姿を知らせたりする。 ◎ペンのインクやのりが乾かないようにしようと思えるように、ペンのキャップを反対側につけると無くさなくてよいことを知らせたり、すぐに蓋をしめている姿を褒めたりする。
--	--	--

E【スキップ律動をする】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・ギャロップをする ・けんけんばをする ・高くジャンプする ・遠くにジャンプする	○友達や物にぶつかって驚いたり痛い思いをしたりして、どうやったら危なくないか考えようとする⑦ ○ピアノの音に合わせてギャロップ、けんけんば、ジャンプをして、身体を動かすと温まることや、身体を動かす心地よさを感じる⑧ ○バランスを取ったり、膝をしっかり曲げてバネを使ったりするなどしていろいろなに体を動かす。⑧	◎どうやったら危なくないか考えられるように、ぶつかってしまいそうな状況であることを言葉にしたり、ぶつかったあとにどうすればいいか一緒に考えたりする。 ◎身体を動かす心地よさや暖かさを感じられるように、子どもの動きに合わせたテンポでギャロップをしやすいリズムの曲を弾いたり、楽しさや温まったことを共感したりする。 ◎いろいろなに体を動かそうとするように、動きを具体的に言葉にしたり、教師がやってみせたりする。

F【おうちの人に見てもらう】		
予想される 子どもの活動	ねらい	*環境の構成 ◎教師の援助
・おうちの人に参	○お家の人にみてもらうことを	◎お家の人にみてもらうことを知り、発

観日のように 見てもらうこ とを知る ・見てもらうこ とを楽しみにし て作り足した り作り直した りする ・おうちの人に見 てもらう	知り，発表会当日を楽しみに思 う① ○お家の人に見てもらったり， 褒めてもらったりすることを 嬉しく思う②	表会当日を楽しみに思えるように，お 家の人が見に来てくれることを知ら せたり，どんなところを見てほしいか 尋ねたり，お家の人が見たらびっくり するであろうということを伝えたり する。 ◎見てもらったり褒めてもらって嬉し い気持ちを感じられるように，見ても らえて良かったことを伝えたり，褒め てもらえて嬉しい気持ちに共感した りする。
--	---	---